

Inkar -インカラ- vol.21

乳がんではないと 言い切れますか？

10月は乳がんから多くの人を守るための
ピンクリボン月間です

受けよう、乳がん検診

低被ばく・高画質

従来のもより被ばく線量を最大 30%削減。(※1)

検査時の痛みを軽減

柔らかな素材でできたソフト圧迫板を使用。

女性技師による撮影

当院での乳がん検診撮影は、検診マンモグラフィ撮影
認定を受けた女性技師が撮影を行います。

検診日時

平日 9:00 ~ 17:00 土曜 9:00 ~ 12:00

検診料金

ピンクリボン月間の料金については、電話にてお問い合わせください

申し込み方法

予約制となります。希望される方は、お電話 (0146-42-0701) か
当院受付にてお申し込みください。

※1 シーメンス従来機種によるグリッド撮影との比較

平日は 19 時まで
仕事終わりの検診も
大歓迎！



- TOPICS -

院長の独り言
油断せず、感染対策の徹底を
ひまわりの絆プロジェクト
受けよう乳がん検診



 医療法人 徳洲会 日高德洲会病院

〒056-0005 北海道日高郡新ひだか町静内こうせい町1丁目10番27号

☎ 0146-42-0701

院長の独り言

インターネットによる新しい診療の形

新型コロナウイルス感染症のパンデミックで明らかになったことのひとつが、先進国だと思っていた日本が、デジタル化では後進国であったということです。国連の経済社会局が2020年7月にまとめた、国連加盟193カ国を対象とした「世界電子政府ランキング」では、日本は前回2018年の10位から4つ順位を下げて14位に後退しました。2019年世界デジタル競争力ランキングでは23位という有様です。日常生活では、「当店は現金だけです」という店がまだまだ多く、キャッシュレスは年齢が高くなるに従って普及していません。会社に出勤しなくてもいい仕事は、リモートワークに変わりつつありますが、特に中年以上の社員には、慣れない環境でお疲れ様という状況です。

オンライン授業については、大学では97%の普及率ですが、小中高では、私立の普及率は高いのですが、公立小学校では数%にしか過ぎません。

医療現場でも、病院に来たくない患者さんのために、電話での診察が可能になっていますが、これはあくまでも臨時措置です。これに対して、医療の制度として「オンライン診療」というものがあります。



日本オンライン診療研究会会長で、サイエンス漢方処方研究会理事でもある、外房こどもクリニック院長の黒木春郎先生のインタビュー記事をご参考にさせていただきました。具体的にどのように診察をするかという点、患者さんは予約時間の5分前に、インターネット環境のある自宅等でパソコンやスマホ、タブレットを前に準備します。画面に患者さんと小児科や高齢者では保護者の方の両方が映るようにしてもらいます。医師は診察室のパソコンでシステムを立ち上げてカルテ情報を開き、モニターを通じて患者さんや保護者と向き合います。あとは対面診療と何ら変わりはありません。現時点では、対象疾患のしぼりが厳しすぎて、普及が進んでいませんが、将来的に疾患制限が撤廃されれば爆発的に広がると思われます。将来性について黒木先生は「オンライン診療は入院・外来・在宅につぐ4つ目の診療概念と捉えています。大事なことは、目の前の患者さんにどの診療形態が適切であるかを医師自身が判断し、決定することです」と語っています。もちろん、当院でも近いうちにオンライン診療を開始すべく準備を始めています。今後は、医療現場がITの普及で劇的に変わっていくと思われます。



新型コロナウイルスから日高を守ろう。

看護師さん大募集中!!

勤務形態、配属先など相談に応じます。

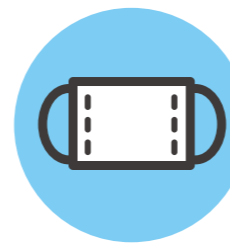
まずはご連絡ください!

☎ 0146-42-0701 (看護部まで)



油断せず、感染対策の徹底を

新型コロナウイルスが昨年末から流行しだしてから、間もなく一年が経過しようとしています。不足していたマスクや手指消毒剤も購入できるようになり、一時期のような混乱からは脱したように見えますが、まだまだ予断を許さない状況が続いています。当地域においては、大規模な集団感染の発生もなく経過していますがこれから寒くなり、インフルエンザウイルスの流行も心配されます。油断することなく、感染対策を再確認、徹底していきましょう。



マスクの着用

鼻と口の両方を確実に覆うようにして装着しましょう。



アルコールによる消毒

何かに触る前と後に消毒を行いましょ。



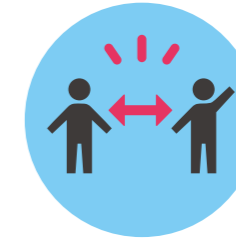
手洗い

石鹸で洗い終わったら、ペーパータオルなどでよくふき取って乾かしましょう。



検温

検温を行い、日々の自分の体調を把握しておきましょう。



ソーシャルディスタンス

1mは離れることを意識して行動しましょう。



ひまわりの絆プロジェクト

交通安全の呼びかけを行いました

9月9日、交通安全と命の大切さを訴える試みとして協力させていただいている【ひまわりの絆プロジェクト】の活動として、高静小学校の児童9名が大輪のヒマワリを背に交通安全の呼びかけを行いました。また、隣では静内警察署に用意していただいた安全運転 シュミレーターを用いて、町民の方に運転における注意点を再確認していただきました。町民の皆様が、小学生の言葉に熱心に聞き入っている様子がとても印象的でした。

